

地域と共に育つ 分権型協働都市

協働のまちづくり
自立した地域づくり
分権の基礎づくり
のために



昨年10月、市民プラザで開催した「にいがた地元学交流会」。各区のコミュニティ協議会が、取り組みを発表したほか、特色を生かしたパネル展示を行いました

地域コミュニティ育成事業	4,486
区自治協議会運営事業	1,875
市民公益活動補助金	836
男性の育児休業取得促進事業	100
特色ある区づくり予算	1億5,587
区役所だより発行	1億3,585
電子申請・届出システム事業	1億7,502

市民公益活動への助成

市民活動団体による公益活動を公募し、活動経費の一部を助成します(全市型・区型)。

人権尊重・男女共同参画の社会づくり

「人権教育」啓発推進計画に基づき、人権意識を啓発する施策を推進してまいります。

個性ある地域づくり

区域の特性を生かしたまちづくりを、区自らが考え実行していきます(4面参照)。

地域活動の拠点づくり

多世代の交流を促進する「地域の茶の間」の開設を支援します。

行政経営品質の向上

政令市新潟にふさわしい行政経営品質の向上について助言をしてもらう、行政経営アドバイザー会議を設置し、P3会議や携帯電話を

共有を図ります。

地域の魅力を掘り起こし、光を当てる「にいがた地元学」の普及啓発を進めます。

大地と共に育つ 田園型拠点都市

田園と調和したまちづくり
農業の魅力づくり
環境重視のまちづくり
に向けて

質の高いまちづくり

都市計画マスタープランに掲げる田園に包まれた多核連携型都市」の

実現に取り組みます。

農地などの資源や農村環境を守るため、地域ぐるみで取り組む



バイオマス利活用の一環として行っている「菜の花」プロジェクト。昨年コミュニティ協議会などの皆さんと一緒に種まきし、場所が春には黄色に染まります

政令市都市計画推進事業	1,924	食と花の世界フォーラム	2,600
農地・水・環境保全向上対策事業	1億2,420	米価下落米づくり緊急支援事業	1億3,763
(仮称)食と花のにいがた交流センター整備事業	3,400	がんばる農家支援事業	8,000
(仮称)アグリパーク・国際農業研究センター整備	12億360	売れる米づくり推進事業	2,482
地産地消推進事業	250	エコファーマー加速推進事業	4,600
地産外商推進事業	850	バイオマス利活用	2,598
農産物輸出促進事業	855	地球温暖化対策	1,213
食と花の銘産品事業	510	ごみ分別の徹底と資源化の推進	9億5,825

米価下落に対する緊急対策
平成20年産における生産調整拡大分について、

環境保全型農業の推進
消費者の食の安心・安全志向に対応するため、環境にやさしい農業生産方式を導入するエコファーマーの認定を受け、

ごみの減量・資源化の推進
6月から、①10月13日別による高品質なリサイクルの推進②有料指定袋制導入によるごみの減量③手数料収入の市民還元

世界と共に育つ 日本海交流都市

人が集うまちづくり
世界に開かれたまちづくり
産業による活力づくりにぎわいの基盤づくりに向けて

駅・空港での花のウェルカム装飾事業
本市の玄関口・交通拠点である新潟駅と新潟空港を花で装飾し、

水と土の芸術祭推進事業
平成21年度の「水と土の芸術祭」での美術展やランドアート展示に向けて

ナント市との姉妹都市提携・機運醸成事業
フランスのナント市との姉妹都市提携に向けて

万代島にぎわい空間の創造事業
水産市場跡地を利用して、新たな万代島にぎわい空間の創造と活性化を推進します



政令市2年目を迎える新潟市。政令市としての実力を高め、さらなる飛躍を目指します。20年度予算案の主な事業について、本市が目指す5つの都市像ごとにまとめました。

本市では、まちづくりの基本となる最上位計画として「新・新潟市総合計画」を定めています。「5つの都市像」は、この計画の中で描いている本市が目指す都市の姿です。

安心と共に育つ 暮らし快適都市

安全
健康やか
安心
快適な
暮らしづくりのために

災害に強いまちづくり
地震対策では、民間建築物の耐震化に対する助成を拡充するほか、保育園や体育施設などの公共施設の耐震診断を実施します。また、災害時に避難所となる小中学校の屋内体育館や校舎の耐震補強事業を推進します。

浸水常襲地域への緊急対策として、雨水貯留施設や排水側溝などの整備を行うほか、住宅や店舗などへの浸水を防ぐための敷地内に設置する防水板の充実など、多様な保育ニーズに応えます。

子育てへの多様な支援
待機児童ゼロ対策として、保育園を新設するとともに、乳児・夜間保育の充実など、多様な保育ニーズに応えます。

障がい者の自立支援
障がい者の就業能力の向上と就業機会の拡大を図るため、職業訓練や指導員の育成に取り組みます。

公共交通の利用促進
区バスの運行や住民バスへの補助など、引き続き生活交通の確保に向けた取り組みを実施します。

緑のまち並みづくり
みどりや森の運動公園、秋葉公園など、市民の皆さんにやすらぎと潤いを与える特色ある公園の整備を進めます。

水道コルセンターの開設準備
水道利用者からの電話受付業務を一元化する水道コルセンターの開設に向けて、準備を進めます。

西養護学校整備事業
平成22年度の開校を目指し、旧巻工業高校の跡地に

市民芸術文化会館事業
今年度は、試験的に公共図書館1カ所での支援を行います。

旧小澤家住宅整備活用事業
北前船の寄港地として栄えた「みなとまち新潟」を象徴する歴史的建造物として保存整備・活用するため、整備工事を行います。

市民が共に育つ 教育文化都市

地域と学校パートナーシップ事業実施校の1つ坂井東小学校では、昨年9月、地域教育コーディネーターの協力の下、地域の人を講師に招き道徳の授業を行いました

学校図書館支援センター設置事業
子どもたちの読書活動を推進するために学校図書館を支援する体制を整備

市民芸術文化会館事業
りゅうとびあ開館10周年、開港140周年を記念し、より充実した舞台芸術の鑑賞機会を提供するとともに、同館を芸術の拠点として、市内内外に発信していきます。

国民体育大会の開催準備
平成21年の国民体育大会の開催に向け、ことし6月から11月にかけてリハール大会を行い、運営準備や来訪者へのおもてなしの基盤づくりを進めます。



オミバス計画の一環として、昨年11月1日運行を開始した、「にいがた義経バス」リレーリンク

住宅・建築物耐震改修等事業費補助金	6,121	後期高齢者健康診査の実施	2億5,995
避難・防災拠点耐震化事業	21億3,513	障がい者就業能力向上支援事業	1,206
緊急浸水対策	13億1,000	障がい福祉サービスなどの利用者負担軽減	5,342
北消防署建設事業	3億4,600	特定健康診査・特定保健指導	5億3,097
新保健所整備事業	26億6,000	大学連携「食育・健康づくり」研究事業	2,000
救急医療対策事業	2億4,186	バス交通支援事業	2億5,971
保育事業の充実	32億4,163	交通システム改善事業	1億8,217
放課後児童の運営・クラブの施設整備	9億1,912	特色ある公園などの整備	14億3,430
高齢者福祉施設の整備	4億5,750	水道コルセンター開設準備	1億2,995

健康づくり
40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者に対し、メタボリックシンドロームの早期予防を目的とした特定健康診査を行い、該当者や予備群に対して特定保健

食育・健康づくりの推進
市内および近隣の8大学と連携し、生活習慣病や食生活についての研究事業に取り組みます。

食育・健康づくりの推進
市内および近隣の8大学と連携し、生活習慣病や食生活についての研究事業に取り組みます。

大観光交流年
新潟国体やJ.Rのデスティネーションキャンペーンが開催される平成21年度の大観光交流年を記念して、文化創造に関する

日仏文化交流事業
日仏交流150周年を記念して、文化創造に関する

日中経済協力会議開催事業
本県を含む東北7県と中国東北3省1自治区の官民トップクラスが一堂に会し、日中間の経済協力の促進を図ります。

新湯駅周辺地区の整備
新潟駅連続立体交差事業など、駅周辺のまちづくりを含めた総合的な整備に取り組みます。

高齢者の生活支援
住み慣れた地域で介護サービスを受けられるよう、小規模特別養護老人ホームやグループホームなどの地域密着型サービスの施設整備を促進します。

後期高齢者の健康保持
増進のため、健康診査を実施します。

食育・健康づくりの推進
市内および近隣の8大学と連携し、生活習慣病や食生活についての研究事業に取り組みます。

大観光交流年
新潟国体やJ.Rのデスティネーションキャンペーンが開催される平成21年度の大観光交流年を記念して、文化創造に関する

日仏文化交流事業
日仏交流150周年を記念して、文化創造に関する

日中経済協力会議開催事業
本県を含む東北7県と中国東北3省1自治区の官民トップクラスが一堂に会し、日中間の経済協力の促進を図ります。

新湯駅周辺地区の整備
新潟駅連続立体交差事業など、駅周辺のまちづくりを含めた総合的な整備に取り組みます。